



ひと、くらし、みらいのために

瀬峰労働基準監督署

Release

平成24年10月31日

瀬峰労働基準監督署

署長 田村 聖  
産業安全専門官 渡辺 朗

## 無災害590万時間を達成!

◇ソニーケミカル&インフォメーションデバイス株式会社登米事業所豊里サイトに、第一種無災害記録証を授与

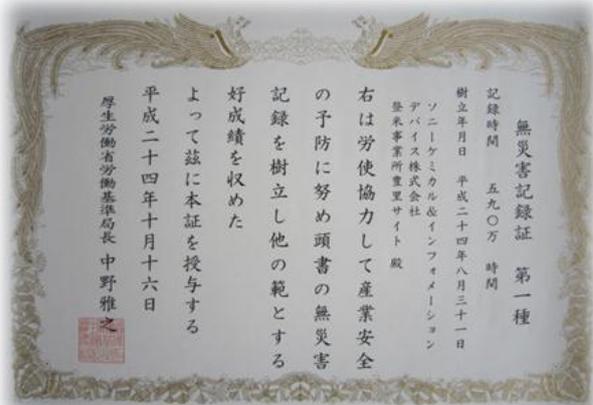
(現:ソニーストレージメディア・アンド・デバイス株式会社豊里サイト)

◇平成19年5月12日から5年余りをかけて社員一丸となって実行してきた安全衛生活動を評価

瀬峰労働基準監督署では、無災害590万時間という記録を達成した、ソニーケミカル&インフォメーションデバイス(株)登米事業所豊里サイト(現:ソニーストレージメディア・アンド・デバイス(株)豊里サイト)に、厚生労働省労働基準局長第一種無災害記録証を授与しました。

当該事業場は、登米市豊里町にあって、放送用磁気テープ、ICカード等を製造する、労働者数500名の工場です。

平成19年5月12日から5年余りをかけて、以下の主要な取組みを始めとする種々の安全衛生活動を継続しながら、全従業員が一致協力し、災害防止に不断の努力を重ねて来たことが記録達成に結び付いたものであり、災害ゼロを目指す他事業所の参考となるよう広くお知らせする次第です。



### 【主要な取組事項】

- 1 機械設備全数にリスクアセスメントを実施し、従業員らがイントラネットでその状況確認が出来るようにして労使一体となった活動を繰り広げている。
- 2 マンネリ化を防ぎ、自主性と意義を自覚させるため、職場討議を経て活動内容を練り上げて現場の安全衛生管理に反映させている。
- 3 安全衛生管理の活動状況をイントラネットに掲示して、全従業員が事業場で実施されている安全衛生管理の状況を確認したり、社内広報紙やメールによって新鮮な話題を提供しながら安全衛生意識の高揚を図っている。
- 4 職場内のほか企業系列や異業種も含めて相互にパトロールを実施し、互いの安全衛生管理活動を評価しあうことにより、スキルアップを図っている。
- 5 PDCAサイクルを展開して、当年の安全衛生管理年間計画の反省点を踏まえて、翌年の計画策定を行っている。
- 6 健康管理にも目を向け、歩数を競う「歩きing」、社員食堂のカロリー表示、ストレス・骨密度・血流チェックなど、健康で働ける環境づくりにも気を配っている。